

最近下水道

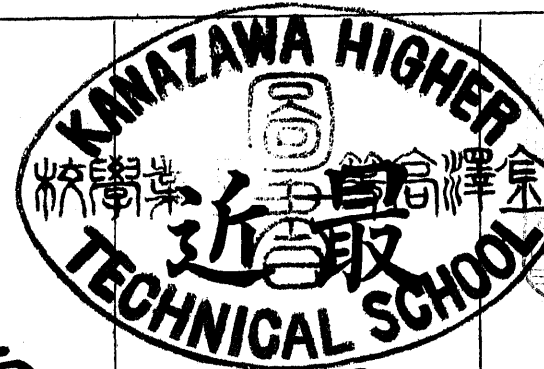
五卷七巻三編

D13-05
M
20496

30

1
7
41

1
7
41



工學士 森慶三郎著

下水道

東京 丸善株式會社

名著100選圖書

54. 10. 22

登 録	昭和	年	月	日
番 号	第	20496	号	
社 團 法 人	土 木 学 会			
附 属	土 木 図 書 館			

引取圖書

序

本邦上水道ノ發達ハ近來大ニ見ルベ
キモノアリ公衆衛生上著シキ良果ヲ得
ツ・アリト雖、之ト密接ノ關係アル下水
道ニ至リテハ、本邦有數ノ都市ニ於テモ
未ダ完全ナル下水方式ヲ定メ或ハ完備
セル下水處分ヲ行ヘルモノ殆ド見ル能
ハザルハ誠ニ遺憾ト云フベク、將來下水
道完成ノ緊要ナルハ自明ノ事柄ニ屬ス、
茲ニ菲才淺學ヲ願ミズ公務ノ餘暇ヲ以
テ本著ヲ公刊セリ、幸ニ斯道人士ノ多少
トモ指針タルヲ得バ幸ヒ之ニ過ギズ、述
ブル所、第一編下水方式、第二編下水處分、
第三編市街掃除、第四編屋內排水、第五編
附録ニ至ル迄、先ヅ理論ノ要旨ヲ述ベ、尙
ホ其應用ニ及ビ、斯クシテ下水道全般ニ
互リテ必要ナル論理ト應用トヲ知悉セ
シメ、更ニ進ンデ實際上ノ設計ニ當リテ
好箇ノ資料タラシメント努力セシモ、著

者ノ淺薄ナル知識ヲ以テシテ或ハ理想ニ過ギザルベク、意ニ充タザル所甚多カルベキハ先輩諸兄ノ御高教ヲ仰ギテ他日ノ斧正ヲ期セントス、請フ讀者ノ諒セラレン事ヲ。

大正十二年四月

著 者 識

本書編纂ニ於テ引用セル參考書ヲ下ニ列記シ謹ン
デ深謝ス

Metcalf & Eddy.	American Sewerage Practice Vol I. Vol II. Vol III.
Moore & Silcock.	Sanitary Engineering Vol I. Vol II.
Folwell.	Sewerage.
Vernon-Harcourt.	Sanitary Engineering with respect to Water Supply & Sewage Disposal.
Ellms.	Water Purification.
Baumeister.	The Cleauing & Sewerage of Cities
Dunbar & Calvert.	Principle of Sewage Treatment.

Merriman.	Elements of Sanitary Engineering. Handbuch der Ingenieur Wi- ssenschaften III Teil IV Bd.
鶴見工學士	下水道 都市公論
君島工學博士	大測量學
田中工學博士	應用力學

最近下水道目次

第一編 下水方式	1
第一章 概要	1
(一) 原則及定義	1
(二) 下水ノ効用	3
(三) 下水式ノ組織	5
(四) 設計	7
第二章 屋内下水(或ハ單ニ汚水)ノ量	8
(五) 下水ノ組成	8
(六) 家庭下水ノ量	11
消費水量	11
人口	13
人口密度	14
下水ノ最大量	15
(七) 商工業下水	17
(八) しーべーぢノ量	19
(九) 最大總量	19
第三章 雨下水ノ量	22
(十) 降雨量	22

(十一) 下水渠へノ流去	26
下水渠ニ流入スル率	27
下水渠ニ到達スル時間	29
第 四 章 下水渠中ノ流レ	36
(十二) 原則	36
(十三) 速度ノ限度	37
(十四) 下水渠ノ形	40
第 五 章 流掃及通風	44
(十五) 下水渠ノ流掃	44
(十六) 下水渠掃除	46
(十七) 下水渠ノ空氣	48
(十八) 下水渠通風	50
第 六 章 下水渠附屬設備	52
(十九) 人孔	52
(二十) 流掃水槽	53
(二十一) 入水口	54
(二十二) 逆さいふらん	54
(二十三) 遮斷下水渠及溢流	55
(二十四) 家内及入水口連絡	57
(二十五) 下水ノ唧筒	58
(二十六) 真空式	60

(二十七) 壓縮空氣式	62
第 七 章 設 計	65
(二十八) 一般原理	65
(二十九) 合流及分離式	67
(三十) 區域ノ細別	69
(三十一) 下水線位置ノ撰定	70
(三十二) 屋内下水ノ容量	72
(三十三) 雨下水ノ容量	74
第 八 章 詳 説	78
(三十四) 下水渠	78
(三十五) 土管	79
(三十六) 混泥土下水管	82
(三十七) 場所打チ下水渠	83
(三十八) 人孔	90
(三十九) 流掃水槽	94
(四十) 入水口及雨水櫛	95
(四十一) 遮斷渠	99
(四十二) 排出下水渠	99
排出下水渠ノ構造	99
排出下水渠ノ雨溢流	100
排出下水渠ニ於ケル人孔	100
排出口ニ於ルケ流レノ調節	100

	排出口位置ノ選定	101
(四十三)	安全下水渠	103
(四十四)	逆さいふん	103
(四十五)	さぶどれーん	104
(四十六)	基礎	105
(四十七)	圓形下水管ノ強サ	105
第九章	下水渠構造法	107
(四十八)	溝ノ掘鑿	107
(四十九)	暗渠	108
(五十)	さうさんぶとんニ於ケル卵形下 水渠ノ構造	109
(五十一)	完全基礎	111
第二編	下水處分	115
第十章	下水ノ組成	115
第十一章	下水ノ河川放流	123
第十二章	下水ノ篩ヒ方及篩	126
第十三章	下水ノ氣曝	130
第十四章	化學沈澱	132
第十五章	間歇濾過法	140
第十六章	灌溉法	145

第十七章	腐槽	149
第十八章	いんほふ槽	154
第十九章	接觸床	157
第二十章	滴散濾床	165
第二十一章	促進汚泥法	174
第二十二章	すこゝともんくりーふ 培養槽	176
第二十三章	其他下水清淨法	178
第二十四章	汚泥ノ處分	181
第二十五章	種々ノ方法ノ比較	187
第二十六章	完全下水淨化ノ 實例	190

第三編 市街掃除

第二十七章	市街掃除	195
第二十八章	塵芥除去及腐敗	197
第二十九章	塵芥焼却	199
第三十章	塵芥ノりだくしん	203
第三十一章	塵芥焼却ノ實例	206

第三十二章	殘滓ノ處分	209
第四編	屋內排水	214
第三十三章	屋內排水	214
	(五十二) とらぶ	216
	(五十三) 水便所	217
	(五十四) 流掃貯水器	218
	(五十五) 小便所	220
	(五十六) 流シ	221
	(五十七) 浴槽	222
	(五十八) 洗面器	223
	(五十九) 桶	223
	(六十) 土便所	225
	(六十一) 汚水溜	225
第五編	附 錄	226
第三十四章	本邦下水道ノ一例	226
第三十五章	合衆國下水處分場ノ 數例	228
第三十六章	單位	230
第三十七章	下水道法	232
	(六十二) 下水道法施行 規則	233

	(六十三) 下水道築造認 可申請方	234
追加(一)	下水ノ量ニツキテ	237
	人口	237
	面積ノ増加	242
	人口密度	244
	下水渠ニ到達スル上水ノ割合	244
	市ノ異ル部分ニ於ケル消費量ノ 割合	247
	消費水量ノ變化	249
	下水流量ト消費水量トノ比	253
	地下水	254
	漏水	255
	下水ノ實測流量	259
	流量ノ變化	261
	地區ノ狀況ト下水量トノ關係	261
	工業廢棄水	266
	全市ヨリノ下水量ノ見積リ	267
	雨水ニ對スル用意	271
	平均流量	275
追加(二)	水理學諸公式及例題	276

だーしー及ばざんノ古公式.....	276
がんぎれー及くったーノ公式..	277
ばざんノ新公式.....	283
小おりふいす.....	283
大矩形おりふいす.....	284
圓形垂直おりふいす.....	284
管内ヲ充滿シテ水ガ流ル時ノ摩 擦損失水頭.....	285
わいすばっはノ係數.....	285
だーしーノ係數.....	285
へーせん及ういりあむノ公式..	289
ふいすノ公式.....	291
圓形曲リ.....	293
わいすばっはノ公式.....	293
堰公式.....	294
ふらんしす堰公式.....	294
ふてれー及すたーんす公式.....	295
すみす公式.....	295
ばざん公式.....	295
三角形堰.....	297
梯形堰.....	297
例題.....	298

追加(三) がんぎれー及くったーノ 公式ニテ計算シタル流 速及流量,附圓ノ面積.....	308
--	-----

目次終